

同窓生

菅原 杏里紗さん (Allie)
高森36回生

幼稚園の頃は、大好きな先生達のサインを求めて毎日園庭を駆け回っていました。今でも「Sign please!」と声をかけてくれる園児を見つけ、驚き、また嬉しく思います。その後もフレンドクラブ、ハイスクールと続けられたのは、常にバワフルで時に厳しく、そして愛を持って迎えてくれる先生達がいたこと、そして仲間と楽しみながら学ぶことのできる環境があったからです。

英語や異文化をもっと肌で感じたく、高校生での留学を決意しました。アメリカでの1年間はすべてが新鮮で、そこに暮らす同世代の子が



▲留学先の高校でバスケットボールのチームメイトと一緒に (左から2番目)

3世代で明泉生 ～庄司さんファミリー～

高森幼稚園に通う庄司美桜さん(年長しらかば組)と真桜さん(年中つばき組)のご家族は、3世代で明泉生。お父様の菅幸さん(Bradley)は高森30回生、おばあさまの真由美さん(Gloria)も丸山4回生です。

創立から50年以上が過ぎ、3代目となる子供達がカンガルークラブや幼稚園に通ってくださることは、園にとってこの上なく嬉しいことです。今後ますます子供達の健やかな育成に尽力し、地域に根差して愛される学園を目指すよう、教職員一同、新年に心を新たにしております。



海外でのよりよい学びを実現するために

～diBec 海外大学日本事務局セミナー～

園では毎年2回、フレンドクラブ・プレミアエメンタリーの卒業生を対象に、diBec 海外大学日本事務局の方をお招きして海外の大学進学に関するセミナーを開催しています。アメリカ、台湾、ヨーロッパやオセアニア各国への進学について、教育制度や費用・生活環境、キャリア形成などをわかりやすく解説していただくことで、第1回セミナー以降、海外大学に進学した同窓生も多数います。

「自分が興味を持っている分野や教科をその先進地で学んでみたい」、「今は将来の目標が漠然としているけれども、それを見つけたために海外で勉強したい」など、海外進学を目指す出発点はいろいろですが、心で思い描くだけでは実現できません。海外進学の方法や行き先、学べる分野、現地での生活や費用など、情報を収集しながら目標を絞り込んでいくことが必要です。

また、身の回りのことや学校生活を自分でできるようにするふだんの努力と、家族との日々のコミュニケーションは、海外で健康的で安全な暮らしをするための確かな支えとなります。留学や海外進学をしてみたいと思っている皆さんは、今からこれらを意識して生活し、明泉の短期・長期留学プログラムや海外大学進学に挑戦してください。

Bible verse

神を畏れよ。神の命令を守れ。これが人間にとってすべてである。神は、善であれ悪であれ、すべての隠れたことについて、すべてのわざをさばかれるからだ。

聖書

伝道者の書 12:13-14

スマホアプリで聖書を視聴してみませんか

明泉学園のニュースレターやホームページでは、聖書からの抜粋を定期的に掲載し、神様の言葉を皆様にお知らせしておりますが、一般財団法人日本G&M文化財団が制作したスマートフォンアプリ「聴くドラマ聖書」では、大和田伸也さんや鶴見辰吾さんなど有名な俳優陣による朗読で、聖書の世界を体験していただけます。聖書の文章も画面上に表示されますので、目と耳で臨場感あふれるドラマをお楽しみください。



アプリのダウンロード
<https://graceandmercy.or.jp/app/>



メイキング映像がYouTubeで公開されています。2つのキーワード「聴くドラマ」「メイキング」で検索してください。
<https://www.youtube.com/>

このシリーズでは、私たちの生きる意味について、聖書がどう教えているのが考えていきます。今回は「命の起源」というタイトルで、神様が天地万物を創られたこと、人間がどんなに素晴らしいものとして創られたのか、そして、人間と神様の間の特別な関係について説明しました。今回は、その素晴らしい関係がどのようにして崩れたのか、またどのようにしてこの世界に悪や不幸や苦しみが入り込んだのかを見ていきましょう。

第2回

「罪」とは何か

神様のかたちに創られ、神様との交わりをもっていた最初の人間アダムとエバは、「エデンの園」と呼ばれる楽園に住み、神様と共に歩み、本当に幸せな毎日を送っていました。その時、この世界には罪もなく、悲しみや苦しみ、病気も死もありませんでした。人間が全世界の動物をおさめ、この世界は平安と喜びで満ちていました。

人間の背き

ところが、アダムとエバは悪魔にそそのかされて、エデンの園にある木の実の中で、唯一神様に食べさせてはいけない、食べると必ず死ぬと言われていた「善悪を知る木」の実を食べ、神様に感謝せず、神様を畏れ敬うこともなく、自分勝手な生き方をするようになります。

人間の心に暗闇が入り、アダムとエバも初めて自分たちが裸であることを恥ずかしいと思うようになりました。神様はアダムとエバを憐れんで、裸を隠すために羊の毛皮で服を作ってあげましたが、この羊の死が聖書に記されている最初の死です。罪のない柔和な羊が人間の罪の犠牲となったのです。

罪の呪い

アダムとエバは悪魔の誘惑に負け、神様に反逆したために、エデンの園から追い出され、働くことに苦しみが始まるようになってしまいました。また、世界に満ちていた平安と喜びが壊され、この世界は悲しいことや苦しいことでいっぱいになりました。

このように私たちの最初の先祖が神様に背いたために、全人類に罪が入り込み、その後、人間はみな生まれつき罪の性質を持つようになってしまいました。誰に教えられなくても、人はみな悪い思いが心に芽生え、良くないことと知っていたが、悪を行ってしまうのです。妬み、憎しみ、争い、傲慢、嘘偽り、むさぼり。それは良くないことと誰でも知っています。しかし、人はそれを行っています。神様が定めた結婚を通しての男女の美しい関係も損なわれ、神様の素晴らしい計画に反する様々な罪を犯してしまいます。そして、そのようなことを神様がどれほど憎み、また悲しんでおられるのか考えることもありません。罪とは、このように神様のことを思わず、神様に感謝せず、神様を畏れ敬うこともなく、自分勝手な生き方をするようになることです。

「人の生きる意味」に関する聖書の教え

園長

ダニエル・ファンガー

人間の愚かさ

こうして、人間の心は神様から離れ、神様に敵対し、愚かになったと聖書に記されています。

愚か者は心の中で「神はいない」と言う。彼らは腐って、忌まわしいことを行う。善を行う者はいない。主は天から人の子らを見下ろされた。悟る者、神を求める者がいるかどうか。すべての者が離れて行き、だれもかれも無用の者となった。善を行う者はいない。だれ一人いない。 <詩篇 14:1-3>

神様を畏れ敬うこと

神様に立ち返り、神様を畏れ敬うこと。何が神様に喜ばれることなのかをいつも考え、悪を退けて、善を行って生きること。それが知恵であり、幸いな人生であると聖書は言っています。

主を恐れることは知識の初めである。 <箴言 1:7>

表紙：2020年は「子年」。「子」は十二支の先頭で、新しい物事が始まる年、繁栄の年とも言われています。卒園、卒業、進級に向かって、皆さんも新学期をスタートさせましょう。

発行日：2020年1月10日 発行：宮城明泉学園 www.meysen.ac.jp

Friends Newsletterは、カンガルークラブからハイスクール、同窓生などに関するニュースをお届けする学園ニュースレターで、明泉サイトでも公開しています。



GOOD LUCK
IN THE FUTURE!



Sledding



進級前に今のクラスで先生やクラスメートと過ごすのもあと少し。園での一日一日を大切にしましょう。

WINTER FUN!!

音楽鑑賞会2019

去る11月21日と22日、高森キャンパスホールにフレンドクラブ・プリミアエレメンタリーの音楽鑑賞会が開かれました。今年は田原さえさんをお迎えしての華麗なるピアノコンサート。登場するとすぐにショパンのワルツ「華麗なる大円舞曲」を演奏。ホールは一気にピアノの華麗な音に包まれました。途中、ピアノ調律師の伊藤正男さんも登場。ピアノの音が出る構造についても紹介してくださいました。続いて、モーツァルトあり、ベートーヴェンあり、ピアノを習っている子供達の多くが練習するブルグミュラーあり、「パプリカ」では会場いっぱい子供達の歌声が広がり、リロイ・アンダーソンの「そりすべり」でクリスマス気分になり、ショパンの幻想即興曲でコンサートを閉じました。あっという間の、ピアノへの理解が深まった、充実した40分でした。



小さいお友達のクリスマスパーティー



カンガルークラブでは、12月にクリスマス会を開催します。昨年12月7日に高森、14日に丸山で、全クラス合同のパーティーを行いました。讃美歌と園長先生のお話に始まり、親子でダンスをしたり、サンタさんからプレゼントをもらったり、一足早いクリスマスを満面の笑顔で楽しんでいました。5月から週1回の保育に通う中で、子供達は自覚ましい成長を遂げています。4月から年少に通う子供達も多く、また、来年度もたくさんのお子さんをカンガルークラブにお迎えできることとなり、教員一同とても楽しみにしています。



11月から3月にかけて、幼稚園やプリミアスクール、フレンドクラブで多くの行事を行う中、インフルエンザや胃腸炎などが拡大しないよう感染予防対策に努めておりますが、このたび留学支援プロジェクト[A Way We Learn]の賛同企業でもあり、丸山の新ホールにもご寄付いただいております東和薬品宮城販売様より、両園合わせて68台の除菌水噴霧器をご寄贈いただきました。専用の次亜塩素酸水を空気中に噴霧することで、さまざまなウイルス等の除去が可能とのことでした。昨年12月末に各教室に設置しましたので、子供達の健康維持に役立ててまいります。



社長の齊藤直樹さんは丸山同窓11回生でもあり、2人の明泉生のお父様でもあります。

教室内の感染予防に新しい味方ができました

台風19号被災地での復旧ボランティア活動

台風19号は東日本に記録的な大雨をもたらし、宮城県や福島県など広い地域が甚大な被害を受けました。丸森町も被災地の一つで、現在も150名近い方々（12月末時点）が避難所生活を強いられており、住宅や道路、生活の再建には程遠い状況となっています。災害発生から1週間後の10月20日、園からのボランティア募集の呼びかけに応えてくださった保護者の方々と園生が活動に参加、22日は雨天のため保護者の方の活動は中止しましたが、有志の先生達8名が救援の食料を各家庭に配って回りました。

復旧が進んでボランティア受け入れを停止・制限した地域もありますが、活動にご参加いただける方は下記のサイトを参考にご覧ください。

台風19号災害ボランティア情報特設サイト
<https://typhoon201919.shienp.net/>



ボランティアに参加したクリストファー先生より

丸森町は、福島県から阿武隈川とその支流が流れ、周りにいくつも山がある盆地です。そのため、台風19号は阿武隈川支流の氾濫に加え、排水困難、土砂崩れなど複合的な被害を引き起こしました。現地では、今も倒壊したままの家や建物、土砂があちこちで見られます。復旧に数年を要するだけでなく、元の姿に戻るのにか心配な地区もあります。

10月20日には、保護者の方に加え、私のクラスの6年生など園生もボランティアに参加してくれました。主な作業は泥かきや

使えなくなった家具等の運び出しで、皆さん泥まみれになりながら一生懸命活動してください。本当にありがとうございました。



災害公営住宅やこども食堂に

おもちゃ・文具を届けています

東日本大震災からまもなく9年になりますが、甚大な被害を受けた地域では、今も震災前と異なる環境で多くの方々が暮らしています。

園では、ジャンボリーやクリスマスパーティー向けに文具やおもちゃを準備しますが、使用しなかった予備分を津波で家や家族を失い災害公営住宅で生活している子供達やこども食堂に集まる子供達に届け、夏祭りやクリスマス会等のイベントの際に配っていただいています。

子供達にもイベントの運営スタッフにもとても喜ばれており、今後も継続していければと考えています。



気仙沼市の災害公営住宅の夏祭りでプレゼントをもらった子供達。ここでは200以上の家族が暮らしています。

2つの英語の大会で明泉生が大活躍

毎年開催されている宮城県高円宮杯全日本中学校英語暗唱大会・弁論大会では近年、明泉生の活躍がめざましく、今年も9月26日に開催された暗唱大会県予選で、丸山プリミアG9の伊藤麻子 (Christine) が1位最優秀賞に輝き、2017年から3年連続でプリミア生が1位を獲得しました。そして、11月15日に開催された第67回東北六県中学校英語暗唱大会でも見事優勝、美しい発音となめらかな暗唱で会場を魅了していました。また、第71回宮城県中学校英語弁論大会では、酒井丈太郎 (Jake / 丸山プリミア卒業44回生) が2位優秀賞に選ばれ、11月29日に開催された全国大会に進みました。決勝予選では惜しくも敗退となりましたが、この貴重な機会をさらなる成長に生かしてくれることと期待します。

※2018年：内ヶ崎大斗 (Wes / 丸山プリミア) 県大会最優秀賞
2017年：若田晴風 (Krista / 高森プリミア) 県大会・東北大会最優秀賞
※今年度のその他の結果
暗唱大会：2位優秀賞 熱海由伊 (Michelle / 丸山44回生)、4位優良賞に高森プリミアと高森ハイスクールから各1名
弁論大会：4位優良賞に丸山ハイスクールから1名、奨励賞に高森プリミアから3名。



Valentine's Party